

科目名	特別講義 1							年度	2025
英語科目名	Special lecture-1							学期	前期
学科・学年	コンサート・イベント科 1年次	必/選	選※	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	小山慶・鳥立麦人・森岡重樹・小峰建・吉野雄一郎・嶋田円歌			教員の実務経験	有	実務経験の職種	音楽・イベント系企業		

【科目の目的】

主体的に講義に参加し、エンタテインメント業界の知識や問題意識を1年生前期の学習に積極的に活かす視座を得る。講義を通じて、各自が1年後期に向けた今後の指針を見出すきっかけを得る。また、特別講師を招いたり、授業やイベントを開催することで、学習体験を豊かにする。

【科目の概要】

特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。

【到達目標】

- A. 主体的に講義に参加する。
- B. エンタテインメント業界の知識や問題意識を、1年生前期の学習の場に活かす視座を得る。
- C. 講義をきっかけに各自が1年後期に向けた今後の自分の指針を発見する。

【授業の注意点】

学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル3 している	レベル2 ふつう	レベル1 要努力
到達目標 A	主体的に講義に参加し 授業内発表ができる	主体的に講義に参加できる	到達目標Aについて さらなる努力が必要
到達目標 B	エンタテインメント業界の知識や問題意識を、1年生前期の学習の場に活かす視座を得る	エンタテインメント業界の知識や問題意識を、 説明することができる	到達目標Bについて さらなる努力が必要
到達目標 C	講義をきっかけに各自が1年後期に向けた今後の自分の指針を発見する	講義をきっかけに各自が1年後期に向けた今後の自分について考察できる	到達目標Cについて さらなる努力が必要

【教科書】

プリント資料

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はルーブリック評価に基づき、授業への参加姿勢とレポートによる。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	特別講義 1							年度	2025
英語表記	Special lecture-1							学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル				評価方法	自己評価
	第一課題		1 特別講義とは	授業対象講義の意義がわかる					

1	第 1 課題発表 課題説明	課題の趣旨を理解	2	課題発表	第一課題の意義がわかる	3
			3	課題理解	課題の内容を理解できる	
2	第一課題実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する	
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う	
3	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する	
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う	
4	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する	
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う	
5	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する	
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う	
6	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する	
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う	
7	まとめ	応用方法を学ぶ	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3
			2	構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる	
			3	課題発表	第一課題をまとめ、発表する	
8	第二課題課題発表	課題の趣旨を理解	1	第一課題の振り返り	第一課題について振り返りができる	3
			2	課題発表	第二課題の意義がわかる	
			3	課題理解	課題の内容を理解できる	
9	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する	
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う	
10	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する	
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う	
11	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する	
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う	
12	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する	
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う	
13	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する	
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う	
14	まとめ	応用方法を学ぶ	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3
			2	構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる	
			3	課題発表	第二課題をまとめ、発表する	
15	総合復習	復習の実践	1	第一課題の振り返り	第一課題を自分のものにできる	3
			2	第二課題の振り返り	第二課題を自分のものにできる	
			3	特別講義の可能性	授業対象技術を取得することへの可能性を知る	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等